

株式会社ゼンショーホールディングス、株式会社すき家及び株式会社はま寿司の 事業適応計画のポイント

令和4年8月31日

- ・ゼンショーグループは、創業来の理念である「世界から飢餓と貧困を撲滅する」を実現するための成長戦略において、AI、クラウド、情報端末、ロボットなどを含む先端情報技術の活用が不可欠であると考え、グループ全体のDX戦略策定と共にその推進体制を整備した。
- ・上記の業態レベルにおける具体的なDX戦術として、近い将来予測される労働人口減少フェーズを想定した前述の先端技術活用による【店内作業の自動化】や、クラウド技術を活用した店舗/本部/製造/物流部門とのシームレスな情報連携による【店舗管理の省人化/自動化】、両者の相乗効果による【業態運営/経営の効率化】をゼンショーの外食部門主要業態の、“すき家”“はま寿司”にて実践的に導入、展開する。

< 事業適応計画の概要 >

1：事業適応計画の実施期間

令和4年(2022年)9月～令和7年(2025年)3月

2：生産性向上目標、新需要開拓目標

計画終了年度(2024年度)のROAが、基準年度(2014～18年度平均)に対して、すき家は25.92%ポイント、はま寿司は1.65%ポイント、それぞれ上回ることを目標とする。

3：前向きな取り組みの内容

計画終了年度(2024年度)の売上高販管費率が、計画初年度(2022年度)に対して、すき家、はま寿司共に、9.0%以上削減することを目標とする。

4：支援措置

税制措置 (DX投資促進税制)

< 事業適応計画のイメージ >

